令和８年度 学校だより

天 王 丘

令和8年11月17日（火）
第 15 号
観音寺市立柞田小学校
発 行

「自分から」が広がる、柞田小学校の朝

11月17日（火）、朝８時前の柞田小学校。校内のあちらこちらで、子どもたちが生き生きと活動していました。

４年生は牛乳パックの回収、児童会役員は歳末たすけあい募金とユニセフ募金の呼びかけ、保健委員会は午後の「生活スクールキャラバン」に向けた準備。









そして、6年生は毎朝続けているボランティア清掃。それぞれの場所には、子どもたちと一緒に活動する先生方の姿もありました。

体育館では、今週金曜日の授業公開に向けて、6年生の図工の授業準備も進められていました。



そして８時10分からは、柞小タイムの全校持久走練習。運動場への集合も、話を聞く態度もすばらしく、走り始めると、一人ひとりが真剣な表情で取り組んでいました。今年度は、順位を競うマラソン大会は行いません。しかし、目標に向かって頑張ることの大切さは、これまでと変わりません。走ることが得意な子も、苦手な子もいます。だからこそ、誰かと比べるのではなく、一人ひとりが自分の目標をもち、自分なりの一歩を積み重ねてほしいと思います。

昨日の自分より少し長く走れた。最後まで自分のペースで頑張れた。友達と一緒に走ることが楽しかった。そんな一人ひとりの頑張りや喜びを学校全体で認め、応援していきたいと考えています。

走る力を伸ばすことはもちろん、走ることが好きになる子、仲間と体を動かす楽しさを感じる子が、一人でも増えてくれたらうれしく思います。

こうした朝の光景を見ながら、改めて感じたことがあります。

今年度、柞田小学校が大切にしている「自分から」。自分から行動する。自分から学ぶ。そして、自分の目標に向かって、自分から挑戦する。その姿が、学校のあちらこちらに広がっています。

そして、子どもたちの「自分から」を支えているのは、先生方の「自分から」でもあるということです。子どもたちのために何ができるかを考え、準備し、ともに汗を流す。誰かに言われたからではなく、子どもたちへの思いをもって、自ら動く先生方。その日々の積み重ねが、今の柞田小学校をつくっているのだと思います。

一人ひとりが自分の目標に向かって頑張り、その頑張りを仲間や先生方が応援する。

そんな温かさが学校いっぱいに広がってほしい。そして、その土台を日々つくってくださっている先生方への感謝を改めて感じた、爽やかな秋の朝でした。



